

令和2年度 高等学校入学者選抜審議会 第1回専門委員会

日時 令和2年9月24日(木) 14:00～

場所 行政庁舎9階 第一会議室

次 第

1 開 会

2 報告・審議

宮城県立高等学校入学者選抜への全国募集の導入について

3 その他

4 閉 会

【 資料 】

- 資料1 報告・審議関係資料

- 別冊1 公立高等学校入学者選抜における県外からの募集実施状況
- 別冊2 全国募集の具体的事例

高等学校入学者選抜審議会条例

(昭和28年3月28日条例第40号)

最終改正 平成24年12月条例第71号

第1条 教育委員会の諮問に応じ、高等学校の通学区域の検討、入学者の選抜の方法及びその実施並びに学力検査問題の作成について調査審議するため、高等学校入学者選抜審議会（以下「審議会」という。）を置く。

第2条 審議会は、30人以内の委員で組織する。

2 審議会に、専門の事項を調査研究させるため、専門委員を置く。

第3条 委員及び専門委員は、学校の教職員、総合教育センターの職員、教育庁の職員及び学識経験者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。

第4条 委員の任期は二年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、任期中においても当該委員を解職することができる。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査研究が終了したときは、退任するものとする。

第5条 審議会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を掌理する。

3 副委員長は、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。

第6条 審議会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

第7条 この条例に定めるものを除く外、審議会の議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議にはかつて定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年10月11日条例第27号抄）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年12月20日条例第71号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

高等学校入学者選抜審議会 第1回専門委員会 名簿

【専門委員】

No.	氏名	現職	備考
1	田端 健人	宮城教育大学教職大学院教授	入選審委員
2	佐々木奈緒子	宮城県PTA連合会副会長	入選審委員
3	河本 和文	東北学院榴ヶ岡高等学校副校長	
4	中里 寛	大河原町立大河原中学校校長	入選審委員
5	小山 順子	南三陸町立歌津中学校教頭	
6	葛西 利樹	宮城県志津川高等学校校長	
7	早川 健次	宮城県宮城野高等学校教頭	
8	岡 邦広	宮城県総合教育センター所長	入選審委員

(教育庁)

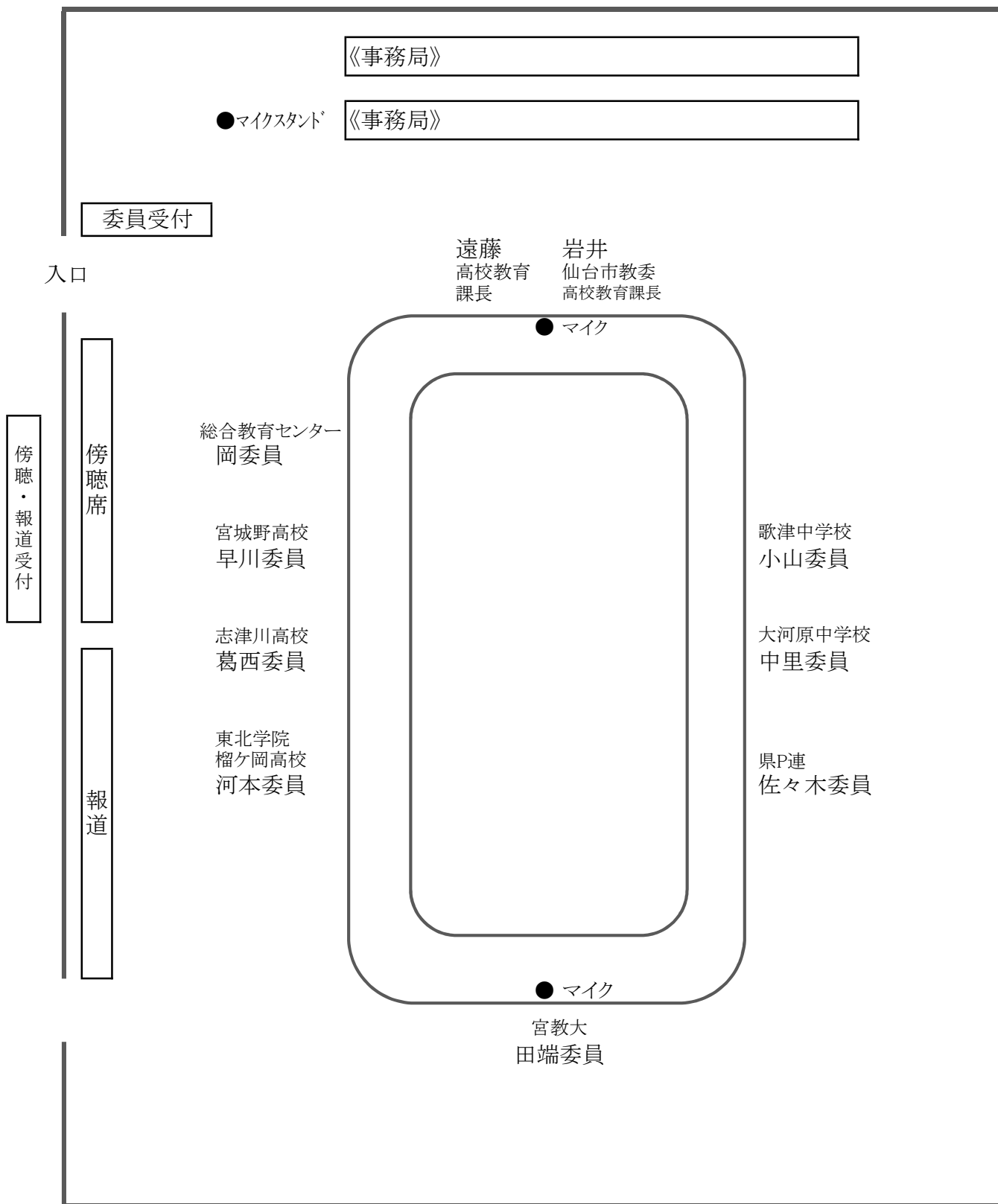
教育委員会	教育長	伊東 昭代
	理事兼教育次長	小林 一裕
	教育監兼教育次長	松本 文弘
教育企画室	教育改革班企画員	柴 大輔
	教育改革班企画員	熊谷 恭
高校教育課	参事兼課長	遠藤 浩
	副参事兼課長補佐	鈴木 智子
	副参事兼課長補佐	牛渡 丈晴
	教育指導班課長補佐	菊田 英孝
	教育指導班主幹	上遠野裕子
	〃 主幹	菊地 芳浩
	〃 主幹	上園 知明
	〃 主幹	立澤 裕之
	〃 主幹	高木 伸幸
	〃 主幹	佐々木久晴
	〃 主幹	鈴木 尚純
	〃 主任主査	清原 和
	〃 主任主査	赤間 裕樹

(仙台市教育局)

学校教育部	高校教育課	課長	岩井 誠
	〃	指導主事	大塚 修哉

令和2年度 高等学校入学者選抜審議会 第1回専門委員会 座席図

行政庁舎9階 第一会議室



報告・審議 関係資料

報告

令和2年度第1回高等学校入学者選抜審議会報告	・・・1
1 全国募集の主なタイプ	
2 全国募集を実施する理由	
3 全国募集を実施する際に課している条件	
4 市町村による支援	

審議

1 本県の現状	・・・2
2 他道府県における全国募集の状況	・・・3
3 入学生を確保できている学校の特徴	・・・4
4 全国募集のメリット・デメリット	・・・8
5 全国募集導入の在り方	・・・9
6 高校入試制度として導入するために考えるべき要件	・・・9

令和2年度第1回高等学校入学者選抜審議会報告

県外からの募集を実施しているのは、35道府県341校

1 全国募集の主なタイプ

① 地域との連携による取組を主とする募集

地元自治体からの全面的なサポートを受けて、地域を題材とした課題解決型探究学習、自治体による教育課程外の体験学習等を実施

例：岩手県立葛巻高校「くずまき山村留学制度」、山形県立遊佐高校「自然体験型留学支援制度」、島根県立隠岐島前高校「島留学」、宮崎県立飯野高校「えびの市飯野高校支援事業」等

② 全国的に珍しい学科、特色のある取組をしている学校で募集

例：滋賀県立信楽高校総合学科・信楽焼、長野県立白馬高校国際観光科、岩手県立種市高校海洋開発科 等

③ 特定の部活動での活躍を期待した募集

例：岐阜県立海津明誠高校ヨット部、三重県立白子高校卓球部・剣道部（女子）、京都府立須知高校ホッケー部、栃木県立日光明峰高校アイスホッケー部 等

④ 特に条件を設けない募集

例：秋田県（全高校において前期選抜で募集人数の10%設定）

2 全国募集を実施する主な理由

- 少子化により、小規模校での定員確保や教育活動の活性化に困難を感じているため
- 学校、地域の活性化のため（自治体からの要望含む）
- 特定の部活動における競技力向上のため

3 全国募集を実施する際に課している条件

- 過去数年の平均志願倍率等 例：過去3年平均志願倍率0.80倍未満（愛媛県）
- 身元引受人の確保（多数の道府県が条件として設定）
- 特色ある取組み（県内で唯一の学科を有する又は地域との連携による教育がなされている 等）
- 一般公共交通機関がなく、寮などがある学校が対象（福島県）

4 市町村による支援

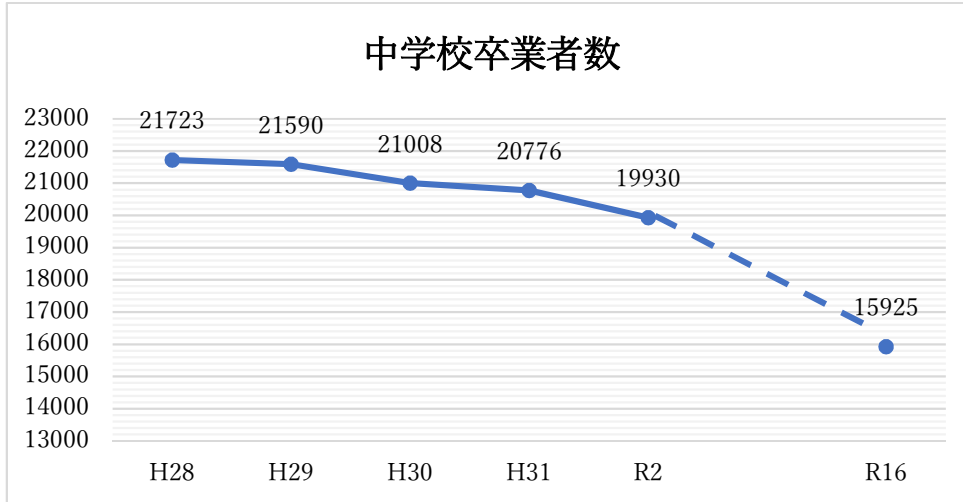
- 経済的支援（入学準備金、部活動費補助、下宿費補助、交通費補助 等）
- 環境支援（公営塾設置（学習面）、寮の整備（生活面） 等）
- 身元引受人の紹介（教育長や自治体の首長が身元引受人になる場合もある）
- 探究活動や課外活動等における連携

審議

1 本県の現状

○中学校卒業生数

H28 : 21,723人 → R2 : 19,930人 → R16 : 卒業見込数 15,925 (R2から約4,000人の減少)



○充足率

H28 : 0.95 → R2 : 0.89 (-0.06)

[宮城県の受験者数等の推移 (全日制課程のみ, H31以前は後期選抜)]

	H28	H29	H30	H31	R2
中学校卒業生	21,723	21,590	21,008	20,776	19,930
募集定員	14,760	14,720	14,560	14,520	14,280
受験者数 ^{※1}	12,114	11,753	11,041	11,750	14,470
受験倍率	1.24	1.20	1.15	1.10	1.03
合格者数 ^{※2}	14,055	14,013	13,707	13,366	12,668
充足率 ^{※3}	0.95	0.95	0.94	0.92	0.89

※1 H28～H31は後期選抜のみ

※2 H28～H31は前期選抜+後期選抜+連携型選抜

※3 合格者数÷募集定員で算出

○全国募集によって見込まれる効果

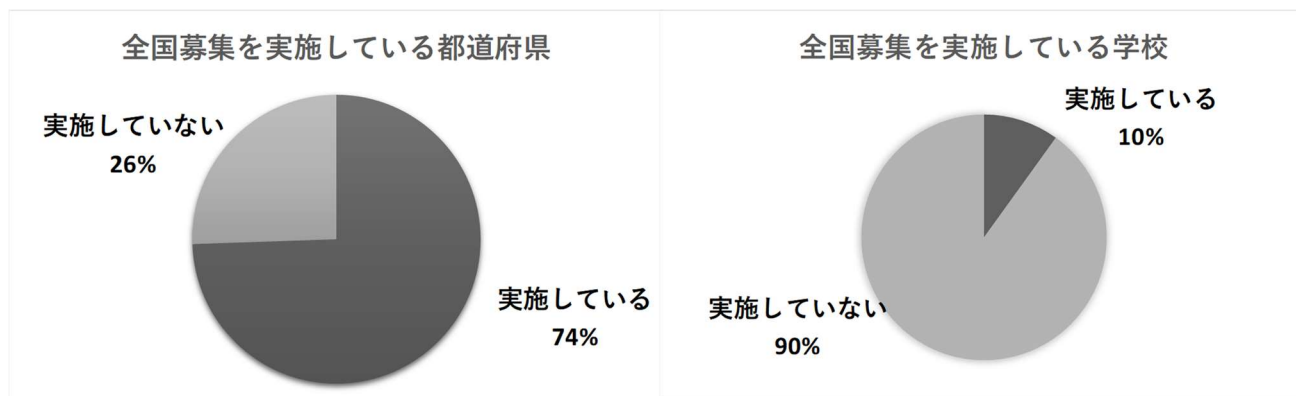
- ①学校の魅力アップ
- ②地域の活性化
- ③全国的に特色のある取組をしている学科での学び
- ④特定の部活動の競技力向上
- ⑤生徒数の確保

2 他道府県における全国募集の状況

(1) 全国の実施状況

・47 都道府県中 35 道府県, 3425 校中 341 校で導入済

※未実施の都府県：宮城, 青森, 埼玉, 千葉, 富山, 福井, 愛知, 香川, 佐賀, 沖縄, 大阪, 東京
→青森は今年度から検討中, 香川は来年度から実施



別冊1 文部科学省「公立高等学校入学者選抜における県外からの募集実施状況」(令和2年度)より
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1408750.htm R2.9.1)

(2) 東北の実施状況

・4 県で導入済, 2 県で検討中

県名	実施校数	学校名(学科)	定員	県外枠
岩手	9校	葛巻 (普通科)	80	-
		大迫 (普通科)	40	-
		水沢農業 (農業科学科)	40	-
		種市 (海洋開発科)	40	-
		平館 (普通科)	40	4
		(家政科学科)	40	4
		住田 (普通科)	40	4
		遠野 (普通科)	160	3
		遠野緑峰 (生産技術科)	40	4
(情報処理科)	40	4		
大槌 (普通科)	80	4		

県名	実施校数	学校名(学科)	定員	県外枠
秋田	47校	前期選抜で全ての学校で実施 前期募集人数の10%		
山形	2校	加茂水産 (海洋技術科)	40	志願者数の合計が入学定員を超えた場合に制限
		(海洋資源科)	40	
		遊佐 (総合学科)	40	
福島	4校	川口 (普通科)	40	-
		南会津 (普通科)	70	-
		只見 (普通科)	40	-
		ふたば未来学園 (総合学科)	160	-
青森	教育委員会において, 導入を検討している			

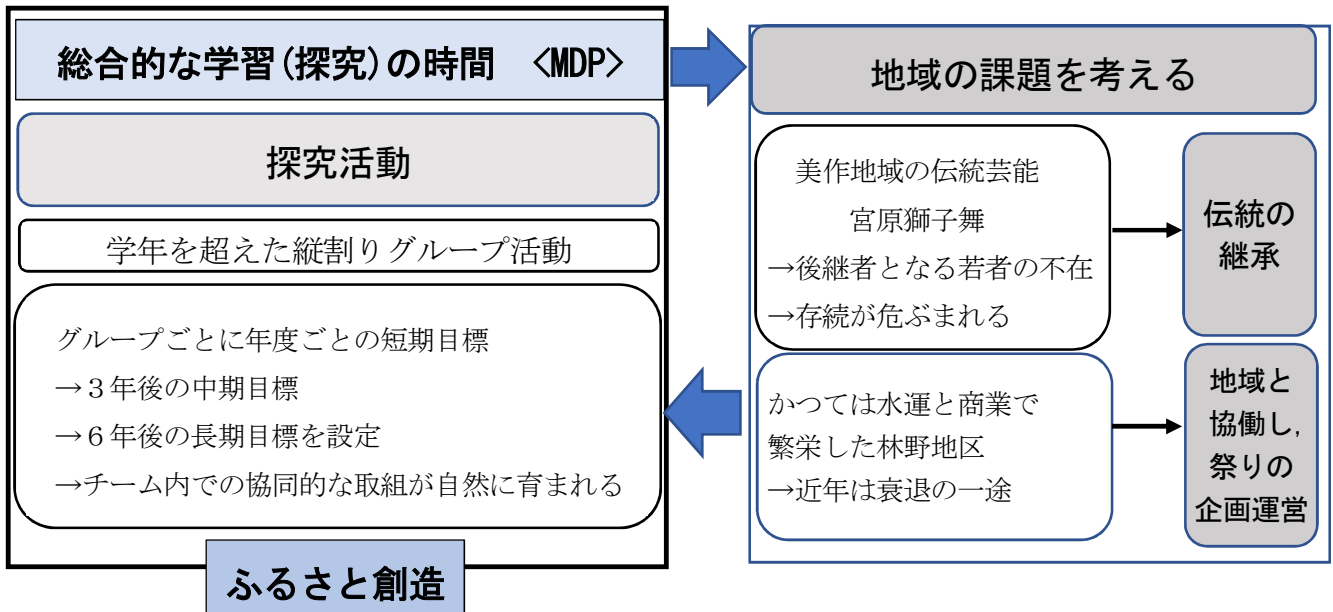
3 入学生を確保できている学校の特徴

(1) 学校の取組

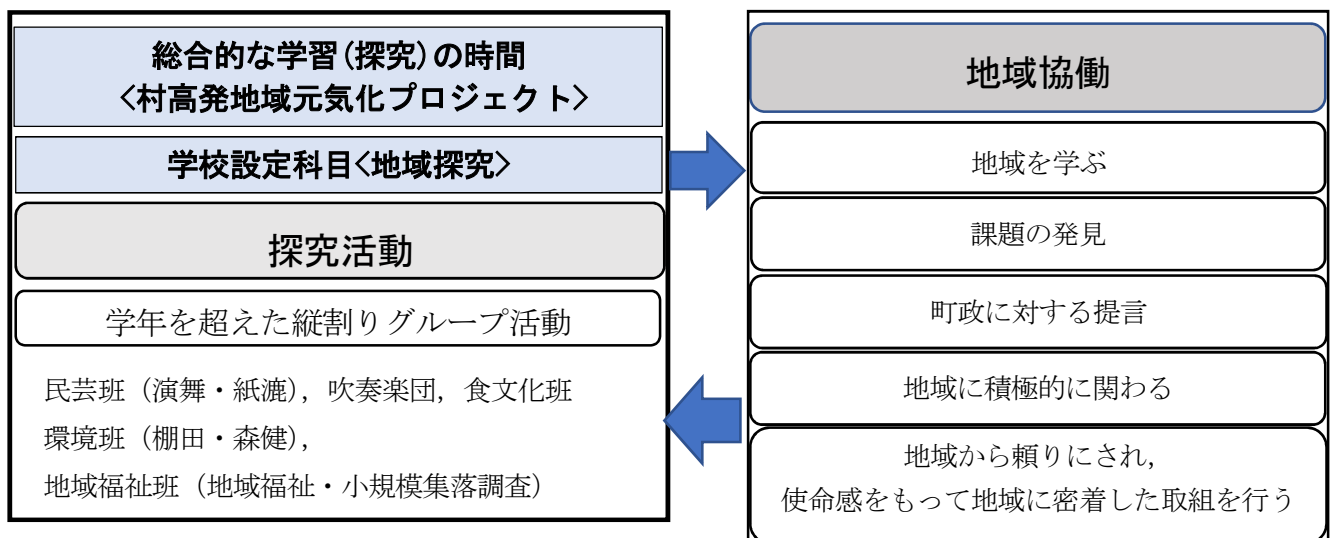
イ 地域との連携による取組をしている例

地域を題材及びフィールドとした課題解決型探究活動（総合的な探究の時間等）・学校設定科目が充実している。

【岡山県立林野高等学校】 ^{はやしの} 全国募集枠 R2：定員の5% → R3：定員の10%



【兵庫県立村岡高等学校】 全国募集枠 地域アウトドアスポーツ類型において定員80人の50%



ロ 全国的に特色のある取組をしている例

【滋賀県立信楽高等学校】 ^{しがらき} 全国募集枠 総合学科セラミック系列・デザイン系列 定員 80 人中 5 人

信楽焼きの伝統技法を学ぶ。野焼き体験学習・登り窯作品制作と焼成体験・海外アーティストによる講義と技術指導を地域の方と共に学習する。

セラミック系列の授業

1年では系列に分かれずに全員同じ科目を受講する。その中にはセラミックやデザインの基礎的な実習科目も含まれる。授業での様々な体験を通して2年からの系列を決定していく。

2年のセラミック系列の授業では、手びねりやロクロ、タタラ成形や絵付けなど陶芸と美術の基礎を学ぶ。

3年生では、2年で学んだ経験をもとに各自の興味と進路に応じたコース（手びねり、タタラ、ロクロ、立体造形）に分かれ、専門的な技術と知識を学ぶ。

【長崎県立対馬高等学校】 全国募集枠 国際文化交流学科 40名

国際文化交流コースを前身として、令和元年度に発足。「全国の公立高校で唯一韓国語を専門的に学べる学校」であり、離島留学制度を活用して、県内外各地から毎年多くの生徒が入学してくる。韓国と近いという地理的、人的な利点を活かした教育を行っている。

韓国語を専門的に学ぶ

ネイティブによる韓国語の授業に加え、専門家による出張講義や、海外の学生との韓国語や英語を用いた遠隔交流の機会を設けている。12泊13日の釜山韓国語研修で、語学力の向上、異文化理解、国際感覚を養う。韓国の大学への進学実績も豊富。

ハ 特定の部活動での活躍を期待した例

【岐阜県】 県全体で、全国大会における上位入賞を目指せる部活動の強化を図っている

- | | | |
|---------|-----------|-------------------------|
| ○不破高校 | スポーツチャンバラ | R1 長剣（3～4級）世界選手権準優勝 |
| ○海津明誠高校 | ヨット | H29 愛媛国体少年男子第5位 少年女子第3位 |
| ○関有知高校 | ライフル射撃 | R2 全国高校スポーツ射撃競技大会 第3位 |
| ○東濃高校 | ロボコン | H31 WRO 全国決勝大会 第7位 |
| ○飛騨神岡高校 | ロボット | |

(2) 地域の取組

地域による就学・生活のサポート体制，教育課程外の活動が充実している。

支援項目	内容
就学・生活 のサポート	<p>【経済的支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入学準備金 10万円を給付（愛媛県立弓削高校[越智郡上島町] ○部活動費補助 部活動強化費・合宿費補助（宮崎県立飯野高校[えびの市] ○下宿費補助 月額3万円まで補助（長崎県立松浦高校[松浦市] ○交通費補助・通学支援 通学困難地域や管外の生徒に月額5千円 （宮崎県立飯野高校[えびの市] ○奨学給付金事業 成績優秀な生徒に月額2万円の奨学金を給付 （宮崎県立飯野高校[えびの市] ○学力向上等支援 検定料・模試・教材費の補助 <hr/> <p>【環境支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身元引受人の紹介 教育長や自治体の首長が身元引受人になる場合もある ○公営塾設置（学習面） ○寮の整備（生活面）（愛媛県立上浮穴高校[上浮穴郡久万高原町] ○留学事業
課外活動	<p>【探究活動や課外活動等における連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高原牧場での自然体験，酪農体験，イベント事業へスタッフとして参加等 （岩手県立葛巻高校[岩手郡葛巻町] ○市による起業家育成プログラム，起業家シミュレーションへの参加 （宮崎県立飯野高校[えびの市] ○まちごとキャンパスプロジェクト 地域がひとつとなって生徒に職業体験（インターン）や学習支援を行う （島根県立島根中央高校[川本町] ○地域課題解決に取り組むことができる特色ある科目を設置→地域学習の機会を確保 <ul style="list-style-type: none"> ・産業社会と人間 （室戸の魅力を理解することを目標に外部講師を活用・地元企業で全員が職場体験を行い，地元の人との交流を深化） ・課題研究（自分が興味関心がある分野の課題を見つけ，課題解決する） ・ジオパーク学（室戸ユネスコジオパークに関する課題を見つけ，課題解決する） <p>それぞれにおいて，室戸ジオパーク推進協議会，学校運営協議会，地元企業，団体と協働し，教育を推進（高知県立室戸高校[室戸市]</p>

(3) 広報活動の充実

全国の生徒への周知に力を入れている。

○PR動画の作成（愛媛県）

3～6分程度の動画を各校が生徒主体に作成し、えひめネットテレビに公開

○パンフレットの作成（複数）

各校の特色を盛り込んだカラーパンフレットを作成

○（一財）地域・教育魅力化プラットフォームが主催する「地域みらい留学」フェスタの活用

- ・地域みらい留学・・・都道府県の枠を越えて、各地域にある魅力的な公立高校に入学・留学する制度
- ・地域・教育魅力化プラットフォームが、島根県教育委員会と共催、総務省・文部科学省からは後援をもらって「地域みらい留学」フェスタを実施
- ・広報のノウハウに長けており、「地域みらい留学」フェスタには、県外へ入学したいと考えている中学生が多く集まる。本年度は、7月～10月まで合計4回実施。
- ・登録料は年間80万円。現在、68校が登録。広く多様なネットワークを生かした広報活動とサポート。
- ・登録料の費用の捻出は、自治体（地方創生推進交付金によって、国から半額補助）やOB会費

※以下は一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム提供資料より

全国生徒募集の課題と提供できる価値

全国生徒募集を行う全国の各高校・地域の声から**広報に関わる課題**が大きい状況。
→全国生徒募集(地域留学)を実施する26道県55高校・地域/都市部の2000中学校/メディア/塾/国/民間等の**広く多様なネットワーク・ノウハウを活かして広報プロセスを最適化**

全国生徒募集を行う高校・課題

広報

- 全国募集をはじめたものの、地域の高校進学に興味を持っている中学生/保護者に会えない
- 自校の魅力をどのように伝えたら良いかわからない、魅力を言語化できない
- 自校のみで広報イベントを企画すると、教員や担当者の負担が大きすぎる

課題を解決する“打ち手”

広報プロセス最適化

意思決定者（中学生・保護者・中学校）にリーチできるネットワークの広さと種類

- ・全国生徒募集を行う26道県55高校・地域
- ・全国都市部の中学校2000校(ほぼすべて)
- ・NHK含む全国・ローカルメディア掲載実績
- ・私塾ネットワーク200団体
- ・内閣府/総務省/文科省の後援
- ・民間(三菱UFJリサーチ&コンサル・リクルート・オプト・ゲージ等)
- ・地域留学に価値を見出す著名人100名、卒業生・在校生500名、保護者500名

地域進学に興味ある生徒・保護者1000組2000名以上を集めるノウハウ

- ・在校生/卒業生/保護者の声をもとに調査し、高校選択の意思決定者に刺さる広報戦略を設計
- ・集客施策(チラシ・WEB広告・メディア等)
- ・全国生徒募集を行う高校・地域を集約したWEB制作

20

4 全国募集のメリット・デメリット

○メリット

県内生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な価値観に触れることで、視野が広がる。 ・ 意欲の高い県外生徒の入学により、刺激を受けて自らの意欲が高まる。 ・ 新たな人間関係の構築と交流の拡大、課題解決学習などを通して、大きな成長が期待でき、コミュニケーション能力が育成される。
県外生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な価値観に触れることで、視野が広がる。 ・ 地域の人々に支えられながら、一人一人を大切にする教育を受けられる。 ・ 地域の歴史・文化の中で伸び伸びと成長できる。
高 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒数が確保されることによる教育活動の充実。 ・ 特色ある教育課程によって魅力ある学校へ（魅力の再発見）。 ・ 部活動の活性化。 ・ 地域との連携が深まる。
地 域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化（魅力の再発見）や経済効果。 ・ 学校との連携が深まる。 ・ 卒業後に、地域の良さを発信、将来的な定住・移住につながる。

○デメリット（課題）

県内生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価値観の違いから、県外生徒との衝突が起こりうる。
県外生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価値観の違いから、県内生徒との衝突が起こりうる。 ・ 保護者の意向が強いと、本人の希望とのミスマッチが起こりうる。
高 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校等の何らかの問題を抱えた生徒が入学してくる場合がある。 ・ 学校の特色が見えづらく、受験生が集まらない。 【例】：特色ある科目を開設するも、選択科目でしかないため、特色になりきれなかった
地 域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寮がない場合の下宿先の確保 → 2年目以降の確保に課題 【例】：三重県立飯南高校 [確保に向けた取組] <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域振興局と連携し、ビラを全戸配布（2回） ・ 住民説明会を開催 ・ 在校生生徒にも配布 ・ 新聞にも掲載してもらう <p style="text-align: right;">1年半かかって 2件確保</p> <p>「いいことだとはわかっている、よその子どもを預かる責任の重さを感じてしまってこの足を踏んでしまっているようだ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用面の負担が大きく、受験生の生活がサポートされていない。 【例】：(複数校) アパート等は県外生徒が各自で手配 ・ 広報のノウハウがない、広報をするにも負担が大きい。 → 「地域みらい留学」は効果的だが、年間80万円という費用負担が大きい これを高いと見るか、安いと見るか

5 全国募集導入の在り方

(1) 学校の魅力アップ

- ・学校の魅力アップにつながる取組とは何か。
- ・地域を題材及びフィールドとした課題解決型探究活動等の実施の可否

(2) 地域の活性化

- ・地域に活性化をもたらす効果的な取組とは何か。
- ・自治体のサポート体制
- ・学校と地域が連携した取組の可否

(3) 全国的に特色のある学科での学び

- ・県内で特色のある学科の学びを，県外の生徒にも求める必要性

(4) 特定の部活動の競技力向上

- ・県外からの生徒の入部の必要性

(5) 条件なし

- ・無条件に募集をかけて良いか
- ・県内受験生の入学機会を奪ってしまうことへの配慮

6 高校入試制度として導入するために考えるべき要件

(1) 募集定員の充足率

(2) 学校による教育課程の整備

(3) 地域による高校生の受入体制

(4) 全国募集を導入した場合の実施見直しについて

(5) その他

【全国募集】検討シート①

No.	タイプ	全国募集の有効性はどの程度か	他の方法はないか	リスク予測
1	学校の 魅力アップ			
2	地域の 活性化			
3	全国的に 特色のある 学科での学 び			
4	特定の 部活動の 競技力向上			
5	条件なし			

【全国募集】検討シート②

No.	タイプ	よりよい導入 (条件整備)	制度導入時の留意点
1	学校の 魅カアップ		
2	地域の 活性化		
3	全国的に 特色のある 学科での学び		
4	特定の 部活動の 競技力向上		
5	条件なし		

		よりよい導入 (条件整備)	制度導入時の留意点
6	募集定員の 充足率		
7	学校による 教育課程の整 備		
8	地域による 高校生の受入 体制		
9	見直しの タイミング		

全国募集の具体的事例

1 地域との連携による取組をしている例

○岩手県立葛巻高等学校

学科等	○普通科 80 名
募集・出願について	○平成 27 年度から募集 ○出願者数 H27:1 名, H28:2 名, H29:3 名, H30:3 名, H31:11 名, R2:16 名 ○岩手県岩手郡葛巻町の「くずまき山村留学生」の候補者となること。 このときに、身元引受人についても町で審査し、いない場合には葛巻町長等が身元引受人となり、学区内の生徒として出願する。
教育活動について	○ 地域系部活動 「ばず部」 ○町内の 3 中学校との間で葛巻地域連携型中高一貫教育を実施。 ○くずまき高原国際交流推進協議会主催で毎年 5 名程度ドイツ研修
進路について	○令和元年度実績 4 年制大学 12 名(国公立 10 名), 短大 2 名, 専門学校 14 名, 就職 20 名
その他	○ 葛巻町の全面的な協力 があり、あらゆる面でサポートしている。 ○希望する生徒は、 まちづくり事業の一環 として、観光地域づくり法人「くずまき型 DMO」の「若者・高校生部会」に所属し、 町の若者と共に葛巻町の課題を研究 する。 ○町が 3 年間の日々の暮らしのサポート、 酪農体験活動 の提供を行っている。 学生寮の建設、制服購入費助成、公営塾への参加等。 ○広報についても、「地域みらい留学」に登録。 ○ 高校魅力化コーディネーター が、 高校と地域を結んで積極的に関わっている。

○山形県立遊佐^{ゆざ}高等学校

学科等	○総合学科 40 名
募集・出願について	○平成 30 年度から募集 ○出願者数 H30:0 名, H31:0 名, R2:5 名 ○身元引受人がない場合は町長が身元引受人となっている。
教育活動について	○ 半年間週 1 日町内の事業所でのインターンシップ を行う「デュアル実践」、 地域との連携を重視した「地域デザイン」
進路について	○令和元年度実績 4 年制大学 1 名, 短大 1 名, 専門学校 4 名, 就職 24 名
その他	○遊佐町が夏に体験型のオープンキャンパスを実施するなど生徒募集をして、R2 には 5 名となった。その他、遊佐町から多大なる支援(制服運動着等購入費用 7 万円, 通学支援, 研修受講料支援, 普通自動車運転免許取得支援 6 万円など) ○全国募集の条件(要項を定めている) ①過去 5 年間定員を満たしていないこと。 ②県内で唯一の学科であること又は地域と連携していること。 5 年ごとに見直しする。令和 2 年 5 月に承認された。 ○県主導では成功しない。県では全国募集の通知を各都道府県に行うが、各校の広報自体は学校と自治体で協力して行う。「地域みらい留学」に登録。 ○コーディネーターの存在

○宮崎県立飯野高校

学科等	○普通科 80 名，生活文化科 40 名
募集・出願について	○平成 31 年度から募集 ○出願者数 H31:0 名，R2:4 名 ○身元引受人は自治体で確保する。
教育活動について	○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度） ○小中高一貫校 ○「 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 」採択 R1～ 活動実績を全国へ発信，全国大会で上位入賞。 ○ えびの市による「起業家育成プログラム」(9 回) ，起業家シミュレーション等に生徒が参加。
進路について	○令和元年度実績 4 年制大学 30 名（北九州市立大学他），短大 12 名，専門学校 25 名，就職 20 名
その他	○えびの市から学校存続の要望があった。 ○えびの市による支援が充実している。 ○R2 は「地域みらい留学」に登録 （県・市・同窓会で 10 万ずつ負担，R2 は 80 万になり県で全額負担）し，県・学校職員・市の担当で参加しブースで広報。そのときに参加していた生徒が受験した（東京 2，関西 1，山口 1）。 ○特色ある取組，受け入れ体制が必要。

○おきどうぜん島根県立隠岐島前高校

学科等	○普通科 80 名
募集・出願について	○平成 22 年度から募集開始。平成 24 年度から学級数増。 ○出願者数 H20:1 人，H21:0 人， <u>H22:5 人</u> ，H23:8 人， <u>H24:32 人</u> ，・・・，H27:24 人，H28:25 人，H29:25 人，H30:30 人，H31:33 人，R2:42 人 ○身元引受人の確保
教育活動について	○島留学 ○「 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 」採択 R2～ 活動実績を全国へ発信，全国大会で上位入賞。 ○公営塾
進路について	○令和元年度実績 4 年制大学 31 名（東京学芸大学他），短大 5 名，専門学校 15 名，就職 7 名
その他	○「地域みらい留学」に登録している。 ○教育課程外における 地域と関わる「夢ゼミ」 （公営塾における活動）

○島根県立島根中央高等学校

学科等	○普通科 90 名コース制（人文科学，自然科学，地域デザイン）
募集・出願について	○身元引受人の確保（川本町長が一括して引き受けている） ○出願者数 H30:23 人，H31:31 名，R2:24 名
教育活動について	○ 地域に学ぶカリキュラム ○ まちごとキャンパス学習 ：週 1 回インターンシップ ○ ふるさと学 1 学年：地域の課題，体験学習，周辺自治体の観光協会の協力，ガイドブック作成 2 学年：チームビルディング活動，サロン経営 3 学年：商業的視点から地域を考察 ○ 地域系部活動 「しまん-Chu♡！」 地元川本町，隣接する美郷町および桜江町を活動の場として地域に関わりを持ちながら，地域への理解と愛着を深め，地域の活性化を図る
進路について	○令和元年度実績 4 年制大学 31 名（国公立 6），専門学校 24 名，就職 17 名
その他	○生活をサポートする「まち親」制度，自治会活動への参加も。 ○寮が 2 つ ○後援会から東京研修，県外大学へのオープンキャンパス参加補助

○島根県立津和野高等学校

学科等	○普通科 80 名
募集・出願について	○身元引受人の確保 ○出願者数 H30:11 名，H31:4 名，R2:21 名
教育活動について	○T-PLAN（総合的な探究の時間） ・ 地域の大人と 1 対 1 で対話 する「トークフォークダンス」 ・ 地域の方を講師 にした「ブリコラージュゼミ」 ・ 地域課題の解決に取り組む 「プロジェクトウィーク」など ○ 地域系部活動 「グローバルラボ」地域で実現したいことを実施。 ○町営無料英語塾「HAN-KOH」
進路について	○令和元年度実績 4 年制大学 33 名（国公立 7），短大 6 名，専門学校 19 名，就職 10 名
その他	○H31 卒業生が推薦で東大合格（神奈川県に進学校からの再入学）

ゆげ
○愛媛県立弓削高等学校

学科等	○普通科 40 名
募集・出願について	○平成 30 年度から募集 ○出願者数 全校生徒 82 人中県外留学生 8 人（2 年目） ○県外からの出願者について，入学を許可する数を募集人員の 15%以内とする。
教育活動について	○習熟度別講座（1 年国数英） ○進路（就職 or 進学）に応じたコース・科目選択（2 年） ○ 総合的な探究の時間 「しごと創造学」「地域仕事学」「キャリア創造学」で 地域活性化，地方創生を担うグローバルな人材の育成 ○自学自習の支援（Classi 導入・教員によるサポート） ○上島町公営塾「ゆめしま未来塾」（高校内に開設）
進路について	○令和元年度実績 4 年制大学 10 名（国公立 6 名），短期大学 3 名，専門学校 9 名，就職 3 名
その他	○上島町の全面的な協力があり，あらゆる面でサポートしている。 ○入学支援金 10 万円，通学定期購入費全額補助，通学用自転車購入費補助 1 台につき 1 万円，部活動費用（旅費）の補助 ○令和 3 年 4 月に新しい寮を設立（自転車で 5 分） 同県で新しい寮を設立後，志願者が 0→6 に増加した上浮穴高等学校 ○広報については，「地域みらい留学」に登録。

2 全国的に特色ある取組をしている例

○長野県立白馬高等学校

学科等	○国際観光科 40名
募集・出願について	○H28 から国際観光科を新設。全国募集を始める。 ○2年次から国際コースと観光コースに分かれる。 ○国際コースは、大学の観光学部、外国語学部などへの進学を目指す。 ○観光コースは、卒業後に旅館・ホテルや観光団体などへの就職を目指す。 ○H28：13名、H29：18名、H30：15名、H31：22名
教育活動について	○ニュージーランドへの 15日間ホームステイ海外研修 （希望者） ○台湾への4泊5日海外修学旅行・ 中国語での日常会話実践 ○ BST（ブリティッシュ・スクール・イン・東京）との交流 ○英語だけで終日過ごす「 イングリッシュデイ 」 ○地域課題をテーマにした 課題解決型学習 を実践 ○地域をフィールドとした学習活動の推進のため「 白馬SDGsラボ 」の設置 ○ 白馬高校型デュアルシステム で、観光の座学とともに、地元企業での実習 ○ 高校生ホテル 村内の宿泊施設を借りて、1泊限定でホテルを実際に運営
進路について	○令和元年度実績（全体） 4年制大学21名、海外への大学進学2名（マレーシア・北米）、 短期大学7名、専門学校14名、就職11名
その他	○公営塾あり（通塾費月3千円～8千円） ○寮あり（月5万円） ○学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置で、地域との連携の深化

○岩手県立種市高等学校

学科等	○海洋開発科 40名
募集・出願について	○H27：7名、H28：12名、H29：13名
教育活動について	○潜水と土木の基礎的知識と技術を学ぶことのできる 全国唯一の学科 。 ○土木系の学科としては珍しく、溶接など機械系の実習も行う。 ○実習船「種市丸」で海に出て、ヘルメットとスキューバでの潜水も行う。 ○卒業までに、生徒の9割が 潜水士の資格 を取る。
進路について	○令和元年度実績 四年制大学4名（公立1名）、短大2名、看護系2名、専門学校14名 就職：自衛隊1名、県内10名、県外25名
その他	○日本潜水協会や海洋土木系の民間企業・団体の資金援助により生徒寮整備

○島根県立情報科学高等学校

学科等	○一括募集 120名
募集・出願について	○情報システム科，マルチメディア科，情報処理科各40名。 ○1年生の間を全科と呼び，自分の個性や目標に合った学科を時間をかけて選ぶ。 2年生からは各自が選択した学科に分かれて学習。 ○全校生徒300人中県外生徒5人
教育活動について	○ 全国唯一のマルチメディア科 の存在 ○Ruby（島根県発祥のプログラミング言語），3D，VRなど最新技術を習得 ○ 全国の高等学校で初の情報ITフェア を開催。 レゴロボットやドローンをプログラミングで動かすブースなど，企画・運営を行う。 ○ PBL方式インターンシップ ： 働く体験をしながら事業所の問題点を発見して解決策を考案・提案して実践へ。さらに，プレゼンテーションにて発表。 ○安来市と オープンデータの活用に関する連携授業 を行っている。 ○学校所有の 3Dプリンタ を活用して，自分がデザインした作品製作。
進路について	○令和元年度実績 4年制大学4名(国公立1名)，短期大学3名，専門学校25名，就職57名
その他	○文科省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）指定校 ○宿泊所あり。食事は自炊。

○長崎県立対馬高等学校

学科等	○国際文化交流学科 40名
募集・出願について	○平成15年度から募集 普通科国際文化交流コースを設立 ○令和元年度から国際文化交流学科に独立 ○出願者数 H29：6名，H30：7名，H31：11名，R2：15名
教育活動について	○科の独自性 ○韓国人講師による 韓国語や韓国の文化・歴史 の授業 ○釜山外国語大学校での 韓国語研修 （2週間） ○ 韓国に関する専門家等による指導 （年5回程度） ○総合的な探究の時間は， 対馬市民や専門家と一緒に，対馬の魅力や抱える問題について議論し，その解決法を考えていく。 →新聞記事にまとめ，文化祭やフォーラムで発表
進路について	○令和元年度実績 韓国の大学校などへ進学10名
その他	○ユネスコスクール認定 ○里親制度または寄宿舎を利用 ○帰省費用の補助。実費の2分の1以内。年間2回まで。

3 特定の部活動での活躍を期待した例

都道府県	学校名	定員	競技
【栃木県】	日光明峰高校（普通科）	無	アイスホッケー, スピードスケート競技
【岐阜県】	不破高校（普通科）	6名	スポーツチャンバラ
	海津明誠高校 （普通科・情報処理科・生活福祉科）	それぞれ 6名, 2名, 2名	ヨット
	関有知（普通科・生活福祉科）	6名, 2名	ライフル射撃
	東濃高校（普通科）	6名	ロボコン
	飛騨神岡高校（総合学科）	4名	ロボット
【三重県】	いなべ総合学園高校 （総合学科）	前8名, 後8名	レスリング（男女）, バスケットボール（女） 硬式野球（男）
	朝明高校（普通科・ふくし科）	前3名, 後7名	自転車（男）, レスリング（男）, ラグビー（男）
	四日市四郷高校（各科）	前4名, 後6名	アーチェリー（男女）
	四日市工業高校（各科）	前7名, 後7名	陸上競技, テニス, バスケットボール, ハ ンドボール, ウェイトリフティング, ラグ ビー（以上, すべて男）
	四日市中央工業高校（各科）	前5名, 後5名	水泳（水球）, 柔道, サッカー, ウェイトリ フティング（以上, すべて男）
	四日市商業高校（商業科・情 報マネジメント科）	前6名, 後6名	陸上競技, テニス, バスケットボール, ハ ンドボール, 空手道（以上, すべて女）
	菰野高校（普通科）	前2名, 後6名	硬式野球（男）
	白子高校（各科）	前5名, 後7名	卓球（男女）, 剣道（女）
	稲生高校（普通科・体育科）	前4名, 後6名	水泳（水球）（男）, なぎなた（女）
	津工業高校（各科）	前6名, 後6名	セーリング（男女）, バスケットボール（男）
	白山高校（各科）	前3名, 後3名	硬式野球（男）
	名張高校（総合学科）	前4名, 後4名	柔道（男女）
	宇治山田高校（各科）	前4名, 後4名	相撲（男）
	尾鷲高校（各科）	前3名, 後7名	水泳（競泳）（男女）
【京都府】	北桑田高校 （普通科・京都フォレスト科）	3名, 3名	自転車競技, ワンダーフォーゲル
	須知高校 （普通科・食品科学科）	4名, 2名	ホッケー部
【奈良県】	山辺高校	募集人員 10%	馬術, ライフル
	御所実業高校	募集人員 10%	ラグビー
	榛生昇陽高校	募集人員 10%	自転車競技
	十津川高校	募集人員 10%	ボート部
【鳥取県】	日野高校	3名程度	ソフトテニス, 射撃, 郷土芸能

以上, 抜粋

★地域みらい留学参加校（各校PR文より抜粋）

北海道奥尻高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	全日制 普通科	81 0
<p>「奥尻島」にある教育資源を最大限に活かし、島をまるごと学校とみなし、地域と連携をとりながら様々な実践を進めている。</p> <p>①奥尻島で活躍する様々な分野のプロフェッショナルから課題をもらい、高校生の目線で地域創生について考える「町おこしワークショップ」</p> <p>②地震や津波などへの防災意識を高め、奥尻島の素晴らしい自然を肌で感じる「スクーバダイビング」</p> <p>③奥尻町の抱える課題とその解決策を立案する「奥尻パブリシティ本部」</p> <p>④難関大学の学生による遠隔個別指導によって、塾や予備校がないハンデを克服する「Wifiニーネー」</p> <p>⑤インバウンドを受け入れる人材を育成する「イングリッシュサローン」</p> <p>⑥島を他校生徒との決闘の場とする「北の巖流島プロジェクト」</p> <p>⑦島留学生の生活環境を確保する「島の房暖ロッジ取次団」</p> <p>⑧連携型中高一貫教育の柱となる「メンタリングシステム」</p> <p>⑨コミュニケーションスキルを学ぶ「ピアサポートプログラム」</p> <p>⑩自分に合った勉強法を見つけ、集中して学ぶ力を育む「まなびづけ」</p> <p>⑪奥尻島在住の方が島での生活をサポートする「島おや制度」</p>		

北海道おといねっぶ美術工芸高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	工芸科	113 21
<p>北海道の北の方、旭川と稚内の中間の位置にある音威子府村に、村立高校として全国から美術・工芸の技術向上を志す生徒が集う、寮を完備した高校。美術・工芸の先生が6名いて、多様な分野の美術・工芸について学ぶことができ、高文連を始め、様々な展覧会で入賞。その他、クロスカントリースキー部は毎年全国大会で活躍し、オリンピック選手も輩出。音威子府村は人口725人(2019年2月末現在)の小さな村で、高校生も大切な村の一員で、村の行事にも積極的に参加。特に村民運動会には学校行事として参加して、村民とチームを組んで争い、大いに盛り上がる。他にも幼小中高の交流事業や、北大の中川研究林での森林探訪授業など、音威子府村生活を満喫できる。</p>		

北海道礼文高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	30 0
<p>礼文町主催の海外交流事業でカリフォルニア州に2週間程度のホームステイや現地での交流を行い様々な国際体験をする。また、礼文島の豊かな自然環境を活かした「高山植物」や「食文化」等について学ぶ。全校ボランティア活動も積極的に行っており地域の人々との交流活動も積極的に行っている。学生寮を新設。礼文島は日本の最北端に位置する離島であり、奇跡的な自然が今なお存在し、また、およそ300種類の花々が咲き乱れ別名「花の浮島」と呼ばれている。ちいさな離島ならではの特徴を活かして漁師とのつながりや、島民とのふれあいを通して知識を蓄える。</p>		

北海道大空高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科	74
		1
<p>新設校。敷地内には寮がある。大空町の地域産業は「農業」。広大な農地の作業効率を高めるため町はスマート農業を推進。農業を身近に捉え、現状の課題を発見し、情報技術と融合させながら新たな価値を探究・創造するための学びの科目群「スマートアグリ探究」のほか、大学等の進学を視野に、入試対応に終わることなく、進学後も自己の在り方や生き方を探究していく力を育むための科目群「文理探究」など、小規模ながらも魅力ある選択科目がある。また、3年間を通じ、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を有機的に結ぶ探究的な学びを実践。町のすべてが探究フィールド。</p>		

岩手県立葛巻高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	131
		9
<p>・葛巻地域連携型中高一貫教育 町内3中学校との中高6年間通じた系統的、継続的指導により、中学から高校へスムーズな移行ができる。葛巻町は、周囲を1000m級の山々に囲まれた自然豊かな町で、「北緯40度 ミルクとワインとクリーンエネルギーの町」をキャッチフレーズに、「食糧・環境・エネルギー」の全ての問題解決に貢献できる町づくりを目指している。そんな葛巻町にある唯一の高校であり、生徒達は町民と一緒に町の将来のことを考えながら、地域活性化に向けた魅力的な町づくりに参画している。</p> <p>・くずまき山村留学制度 葛巻町が実施している山村留学制度により、全国から集まる生徒達との交流を通し、大きな刺激が得られる。</p> <p>・進路に応じたコース制 一年次から、就職等を希望するAコースと大学等を希望するBコースに別れ、進路目標の実現に向け取りくむ。公営学習塾「葛巻町学習塾」が平成29年に開校され、授業料、教材費（映像教材を除く）は無料</p> <p>・海外派遣 地元企業等の支援のもと、本校生徒を対象としたドイツ研修があり、毎年5～7名の生徒がドイツに派遣される。</p>		

岩手県立遠野高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	400
		4
<p>1 確かな学力を育むための授業改善 課題解決型学習とICTを活用した授業を推進。</p> <p>2 「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト 様々な団体の協力のもと、地域の課題を発見し解決に向かう中で、課題解決能力を身に付け、自らの在り方・生き方を考える。</p> <p>3 対外交流活動への積極的参加 海外交流をはじめ、学校の枠を越えて様々な活動に積極的にチャレンジ。 遠野市と本校同窓生の協力なしにはできない伝統行事「うさぎ狩り」 総合的な探究の時間「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」では、地域の方々と課題解決に取り組む。 老人介護施設などでのボランティア活動にも積極的に参加。</p>		

岩手県立遠野緑峰高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
生産技術科（生産科学コース，生活文化コース），情報処理科	143	0
<p>1 地域と連携した教育活動 「地域資源を活用し、地域と連携した教育活動を推進し、その成果を地域に還元する」を合言葉に、両学科とも、市内外の団体・個人と連携した実践的教育活動を推進している。</p> <p>2 課題探究型のプロジェクト学習 1年次では外部講師による様々な講座やフィールドワーク、2年次以降は両学科ともグループごとに課題研究に取り組んでいる。農業クラブのプロジェクト発表は4年連続全国大会に出場。</p> <p>3 国際交流事業 台湾からの教育旅行生が来校するなど、アメリカや台湾の高校生と積極的に交流している。</p>		

岩手県立住田高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
普通科進学コース・普通科総合コース	86	0
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模であることを生かし、生徒一人一人にあったきめ細やかな教育をおこなっている。定員40名のクラスを二つに分け、習熟度別、進路希望別に授業をおこなう。小規模だから、質問がしやすく、授業の理解が進む。 ・住田町に飛び出す活動がたくさんある。文部科学省から研究開発学校の指定を受けた「地域創造学」では、住田町や近隣の地域をフィールドに自らが企画運営するマイプロジェクトに挑戦。 <p>また、町内の保育園児の森林探検をサポートする「森のほいくえんボランティア」も人気がある。毎年、オーストラリアで、ホームステイをしながら現地の学生と交流する機会を設けている。海外派遣研修事業は、住田町から補助あり（自己負担あり）。</p>		

岩手県立大槌高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
普通科	159	0
<p>大槌町内唯一の高校である大槌高校は、大槌町と連携し「大槌町魅力化プロジェクト」を立ち上げ、三陸地域の復興とその先の未来をリードする高校生を育てる、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。具体的には、三陸地域の未来を担うリーダーを育てる週2時間の「三陸みらい探究」の開講や大槌高校のありたい姿を熟議する「大槌高校魅力化構想会議」など。大槌高校の未来を大人だけの問題とせず、生徒や町民全体の問題と捉え、地域が一体となって学校づくりに参画。大槌高校生と町民合わせて110名が一堂に会し、自分たちが通う学校の未来について語り合ったりした。また、東日本大震災発生時、避難所となった大槌高校で生徒と教職員が避難所運営を担ったことを契機に、「復興研究会」が発足しました。現在では在校生の約7割が所属し、以下の5つの活動をしています。</p> <p>①定点観測：大槌町内180箇所のポイントから写真を撮影する活動</p> <p>②他校交流：県外の高校生との交流の機会を通じて、復興の取り組みを伝える活動</p> <p>③キッズステーション：町内の施設に訪問し、遊ぶや勉強を通して地域の子供達に笑顔と元気を届ける活動</p> <p>④防災・まちづくり：町内の防災訓練への参加や防災紙芝居の作成・発表など、防災の発展に向けた活動</p> <p>⑤広報：復興研究会の活動に関する情報発信</p>		

山形県立遊佐高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科 107	6
<p>昭和2年に地域の青年のために設立された遊佐実業公民学校を母体としている。以来、地域と共に歴史を重ねてきた。平成27年度入学生から総合学科がスタートし、生徒の多様な進路に対応できるよう教育課程を整えた。特色として半年間週1日、遊佐町内の各事業所で職業体験を行う「デュアル実践」という科目がある。事業所の方に継続的に指導いただくことで、仕事の厳しさや楽しさを実感することができる。遊佐町は平成28年9月に鳥海山・飛鳥ジオパークとして認定された。鳥海山の豊富な伏流水は遊佐町のいたる所に湧き出しており、学校のすぐ近くを流れる八ツ面（やつめ）川は、湧水の影響で夏も低温を保っている。イバラトミヨ（絶滅危惧種の淡水魚）は20℃以下の低温でしか生きられないが八ツ面川には多数生息しており、継続的にフィールドワークを行って、イバラトミヨの体長測定に取り組む。</p>		

福島県立川口高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科 79	7
<p>少人数教育の利点を生かし、「一人ひとりが光り輝く主人公」となるような教育を目標とし、生徒一人ひとりの学習や進路希望に対応したきめ細やかな指導と支援を行っている。</p> <p>また、少人数だからこそ、生徒間でも職員間でも気心が知れ、穏やかで、思いやりのある、良い人間関係が形成される。悩みの相談にもきめ細やかな指導と支援を行っている。</p> <p>豊かな自然環境とおおらかな気風、面倒見のよい教師集団のもと、勉強と部活動に一生懸命励み自分自身を磨き上げることができる学校。</p>		

福島県立只見高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科 116	41
<p>ユネスコエコパークに認定された只見町の豊かな自然環境の中で、少人数クラスの利点である生徒一人一人へのきめ細やかな教育、指導を行っている。生徒、教職員間で、みな顔も名前も気心も知れたアットホームな学校。生徒の希望する進路を実現させることを目指しての指導は、毎年100%進路実現しており、只見町からの厚い支援のもと、様々な補助を受けながら勉学にも部活動にも安心して励むことができる。</p>		

新潟県立阿賀黎明高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科 83	0
<p>コミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校</p> <p>地域や関係機関と連携した多様な体験活動をとおして、生徒の豊かな感性と社会性を育てている。阿賀町とともに進める「阿賀黎明高校魅力化プロジェクト」では、公営塾「黎明学舎」の取り組みをはじめ、阿賀津川中学校との連携など、町をあげての教育活動が展開されている。</p> <p>また、新学習指導要領で求められる「社会に開かれた教育課程」の実現のために、コミュニティ・スクールとして県教育委員会の指導の下、学校運営協議会を設置し、地域の実態に合った魅力ある学校づくりを行い、生徒の成長を支援していく。</p>		

静岡県立川根高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科 140	0
<p>少人数授業やチューター制度による進路支援などきめ細やかな指導で、大学進学から就職まで、生徒一人一人の多様な進路に対応している。また、遠隔通信システム等の最新のICT機器を活用した授業を行っている。地域交流も盛んで、「川根の郷『夢』プロジェクト（夢ぷろ）」では、地域の魅力を発見するとともに、課題を発見し解決しようとする人材を育成している。</p>		

三重県立飯南高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科	234 0
<p>「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」（地域魅力化型）に取り組んでいる総合学科。地域を学び場とした探究活動を実践。2年次からは、自分の進路希望、興味関心に応じて、郷土・環境、介護福祉、総合進学、コンピュータの4つの系列から1つを選択し、より専門的な学びをおこなう。2021年度から初めて県外からの生徒を募集。</p>		

三重県立昴学園高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科	191 0
<p>全国唯一の県立で全寮制の総合学科の高等学校。三重県内全域と県外から集まった生徒たちが、大台山系の山々に囲まれた豊かな自然環境のもと、特色ある5つの系列（国際交流、総合スポーツ、美術工芸、生活福祉、環境技術）で学ぶ。2020年入学生から県外からの生徒を募集。</p>		

滋賀県立信楽高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科（セラミック系列・デザイン系列）	192 5
<p>信楽高等学校の総合学科は「セラミック系列」「デザイン系列」「普通系列」の3つの系列があり陶芸を中心に学ぶ「セラミック系列」とデザインから美術までを学ぶ「デザイン系列」では全国募集を実施し、「アート留学」と名付けている。2つの系列では少人数で基礎から応用まで学び、一人ひとりの夢の実現をサポート。1年次生 全員がセラミックやデザインの授業も含む共通の科目を学ぶ。2年次生 全員が共通して受ける授業と、系列ごとに分かれて受ける授業がある。系列ごとの専門的な学習を深めていく。3年次生 系列ごとの専門分野をより深く学ぶと同時に、進路希望に応じた様々な選択科目によって一人ひとりの進路実現を目指す。</p>		

兵庫県立村岡高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	地域アウトドアスポーツ類型	185 4
<p>兵庫県北部の山間部に位置し、関西随一のハチ北スキー場の麓にある。1学年2クラスの小規模校。2014年度より地域アウトドアスポーツ類型(地域創造系・アウトドアスポーツ系)を設置、全国募集を行い地域になくはない学校を目指して教育活動を展開している。</p>		

奈良県五條市立奈良県立五條高等学校 賀名生分校	2019年度 全校生徒	県外留学
	農業科	38 -
<p>市町村比較で柿生産高日本一を誇る五條市西吉野町にある昼間定時制の小さな高校で修業年限は4年。地元農家から学ぶ実習や3年生からスタートする平日の就労を通して、実践的な農業生産技術を習得。また4年生の希望者を対象に、毎年7月、北海道余市町の農家で10日間の現場実習を行っている。昭和41年から始まったこの実習は、50年以上続く伝統ある実習で、やり終えたときの充実感は何ものにも代えがたい喜びとなる。</p>		

和歌山県立串本古座高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	219 8
<p>本州最南端の町である串本町・古座川町の周辺地域にある自然・文化などの学習を通じて、地域に貢献できる即戦力の人材を育成する地域未来創造コース。地域の豊かな自然や文化、歴史を学び、水産・観光等の地域資源を活用したさまざまな体験を通して、地域活性化を考え地域に貢献するとともに、グローバルな視点を持ち、主体的・協働的に行動するローカルリーダーの育成を目指している。</p>		

鳥取県立青谷高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科	198
		1
<p>たくさんの選択科目の中から自分の興味・関心・進路希望に応じた科目を選択して学習可能。2年次から4つの系列に分かれるが、自由選択の科目もある。1年次の選択は3通りだが、2年次の選択は最大540通り、3年次の選択はなんと14000通りを超える。2年次の「青谷学」において、地域の方を講師として招き、地域の魅力を再発見して自分たちで課題を発見。3年次には、2年次に発見した魅力を発信するとともに課題について深く調査研究する。その成果も地域の方に発表する。</p>		

鳥取県立倉吉農業高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	農業学科 生物科,食品科,環境科	247
		2
<p>創立134年を迎える歴史と伝統のある専門高校（農業科）。県内唯一の農業経営者育成高等学校として、農業学科の特性を活かし体験をとおして心と技を磨く。</p>		

鳥取県立日野高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科	102
		3
<p>鳥取県西部の中山間地域にある唯一の高校である日野高校は、学校がある日野町、そして隣町の日南町、江府町、この3つの町と連携・協働しながら生徒の社会性を育て、新しい時代に求められる資質や能力を育てている。地域資源や人材を活かした取組みが、学校の特色化・魅力化へとつながり、ひいては地域の活性化に貢献するという好循環を創り出していく。</p>		

島根県立情報科学高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	情報システム科, マルチメディア科, 情報処理科 (一括募集)	300
		5
<p>昭和62年4月、地元の強い要望と熱い期待を受け、これからの「高度情報社会を担っていく有為な人材の育成」を目指した特色ある県立高校として開校。全国に誇れる特徴は次の3つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公立高校として全国唯一のマルチメディア科がある。 ②全国初のイベント「情報ITフェア」開催 ③島根県松江発のプログラミング言語Rubyの全員履修 		

島根県立大東高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	307
		0
<p>大東高校の探究授業では、地域の課題をより自分ごと化するために地域へフィールドワークへ行くことができる。フィールドワーク先の方々との関わりの中で、地域のキャラクター制作を通して地域活性化を行うプロジェクトを立ち上げた。キャラクターをデザインしたり、地域のイベントでお披露目したり様々な活動が生まれた。探究授業や放課後の時間を使って自分たちのやりたい事、様々な興味関心を深められる事が出来る。</p>		

島根県立横田高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科・進学コース, 普通科・総合コース	244
		29
<p>2017年に横田高校魅力化ビジョンを策定し、四方良しの人づくりを基本理念とし、学校と地域が連携することで生徒に「自己実現力」「コミュニケーション能力」「異文化理解力」「課題解決力」を身につける。地域と連携したプログラムでは、プロジェクト学習「奥出雲学」や商品開発・地域課題研究も特徴のひとつ。地域や社会の出来事や課題に関心をもち、高校生がそれに対して何が出来るかを考えて、実践することを大切にしている。チームで話し合い、発表する機会も多い。</p>		

島根県立三刀屋高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	総合学科	418 13
<p>探究授業で医療機関を利用する外国人に視点を向け探究を行った。授業で行った地域に出向くフィールドワークでは実際に病院へインタビュー等を行い、校内の調査では知ることの出来なかった現場の課題など様々な話を聞くことができた。授業で見つけた課題を解決するため、外国語表記をより簡単に翻訳できる仕組みづくりにチームで取り組んでいく。チャレンジを行っていく中で多くの地域の方々と関わり学ぶことがとても多い。</p>		

島根県立飯南高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	174 23
<p>2年次よりⅠ型（就職・専門学校進学向け）・Ⅱ型（大学進学向け）のコースを選択。個々の目標に向けて、少人数習熟度別授業や個別指導による、一人ひとりの目標を叶えるためのきめ細かい指導が特徴。生徒からの評価も高く、多くの生徒が目標の進路を実現。また、地域全体を学びのフィールドとして捉え、体験学習や地域資源を積極的に授業に取り入れる飯南高校独自の「生命地域学」を行い、自らの人生を主体的に切り拓く力を身につける。</p>		

島根県島根県立大田高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科, 理数科	420 3
<p>「普通科」と「理数科」があり、自分に合った学びの機会が選択できる。「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善モデル校にもなっており、各教科でより深い学びの時間を実現していく。また、プログラミング学習や、地域をフィールドにした体験・対話活動、地域の方の「困った」や「やりたい」を高校生の力で解決するプロジェクト型学習など、様々な学習を通して自分と地域の未来を切り拓く力を身につける。</p>		

島根県立島根中央高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科,人文科学コース,自然科学コース,地域デザインコース	242 75
<p>島根県の中央に位置する島根中央高校には、全国約100校の中学校から様々な夢や目標を持った生徒が入学。島根県唯一のコース制・総合選択制を採用しており、2年次から選択できるコースは「人文科学コース」、「自然科学コース」、「地域デザインコース」の3つ。</p>		

島根県立矢上高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科総合コース,普通科探究コース,産業技術科植物コース,産業技術科動物コース,産業技術科工業コース	239 42
<p>普通科と実業系の産業技術科の2つの学科がある。普通科では徹底した少人数指導を行い、学力を確実に身につけることができる。また、地域に出かけて課題解決学習に取り組み、それを研修旅行先の大学や邑南町内で発表することをとおして、新しい世の中に立ち向かう資質・能力を身につけることをめざす。</p> <p>産業技術科では興味に応じて、植物・動物・工業の各コースに分かれ、専門的な分野を実習を通して学ぶ。中でも「と畜」実習では、ニワトリをと殺・解体し、調理して食べるまでを自ら体験し、「いのちをいただく」ことについて考える取り組みも行っている。いろいろな個性を持った生徒が全国から集まる矢上高校には、たくさんの刺激と本当の多様性がある。</p>		

島根県立江津高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	202 2
<p>小規模の学校だから、生徒ひとり一人の個性を活かす学習ができる。少人数指導・習熟度別指導はもちろん、3年次の進路指導はひとりの生徒にひとりの教員が付き、徹底した支援を行う。</p>		

島根県立浜田水産高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	海洋技術科,食品流通科 136 36
<p>■海洋技術科は、船・海洋生物・海洋関連機器を学ぶ。日本最大級の「神海丸」が成長させてくれる。</p> <p>■食品流通科は、この地域で唯一の食品系学科。「SEA FOOD」,「商品研究」,「美味しさ」,「健康」など、食の追求は地域への大きな貢献となる。</p>	

島根県立吉賀高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科,総合探究コース,地域創造コース 104 23
<p>吉賀高校は、1学年1クラス、全校生徒95名の小さな学校だが、平成27年度入学生から県外募集をはじめ県外からの入学生も増えて、小さい学校ながら多様性のある学校となった。そして、多様ではあっても少人数なので、生徒も教員も距離が近く和気あいあいで、生徒一人一人の活躍の場も多い。</p> <p>少人数指導も徹底していて、2年次からは進路希望によって1クラスを2コースに分け、授業そのものも英・数・国は習熟度別に行い、個別添削指導にも力を入れている。また、キャリア教育は、「起業家精神に学ぶ」として『アントレプレナーシップ教育』で、地域をフィールドとし、地域のひととの協働の活動を通じて、一人一人が「大きな夢」を持ちそれが実現できるように支援している。学校設定教科『環境』では、地域の森・川・海それぞれの専門家に、フィールドワークも交えて指導してもらっている。</p>	

島根県立津和野高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科 182 53
<p>知識と経験を兼ね備えた創造力豊かな人をめざす生徒を支援し、育てる学校。一言でいえばグローバルなイノベーターの育成をめざしている。</p> <p>多様な人々との交流が待っており、さまざまな都府県出身者から多様な刺激を受けたり、異文化を身につけた海外留学生との出会いから日本文化の素晴らしさに気付く。また、寮生活では生涯の友とめぐり会う。</p> <p>そして、東京はじめ全国そして海外からも津和野に移り住んで高校生を支えている大人がたくさんいる。高校魅力化コーディネーターや町営英語塾の講師陣、インターン大学生など。</p> <p>この津和野高校の小さなコミュニティを介して、全国そして世界につながっていく。将来の選択肢が増えて未来への可能性が高まるか否かは自分次第。</p>	

島根県立隠岐高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科,商業科 201 7
<p>世界が認めた隠岐の島の魅力を知り、島の住民として、考え・行動することで隠岐を日本や世界で語れるようになることを目的としている。</p> <p>1年、2年次の総合的な探究の時間を利用して、「隠岐ジオパーク研究」としてフィールドワークや調査・研究を行う。地域の方から意見をもらいながら地域課題の発見や解決に取り組む。チーム活動を通じてコミュニケーション能力や主体性といった力が身に付く。3年次には選択科目として「隠岐ジオパーク探究」があり、隠岐の特徴を活かした、隠岐の人のためのビジネスプランを考え、提案する。</p>	

島根県立隠岐島前高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科 157 72
<p>主体的に、協働的に、探究的に、地域の魅力や地域課題をベースに1年間かけてチームで取り組む探究学習が学びの柱。全校生徒の半数が県外からの島留学生で、トルコ、ミャンマー、ロシア、コスタリカ、グリーンランドなど海外の留学生も多数受け入れてきた。</p>	

島根県立隠岐水産高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
海洋システム科・海洋テクノコース,海洋システム科・エンジニアコース,海洋生産科・食品生産コース,海洋生産科・資源生産コース	135	40
<p>周囲を海で囲まれた、豊かな自然が身近にあるこの環境は、のびのびとした高校生活を送るには最も適している。その中でも年間を通して風の多い西郷湾に面しており、水産を学ぶには特に恵まれた環境にある。</p> <p>「熱・意気・団結」を校風とする創立113年目を迎える県内屈指の伝統校。</p> <p>1学年に2学科があり、2年次よりコース制とし、船舶や水産加工食品に関してはもちろん、海洋環境、マリンスポーツなど時代に対応した教育課程を編成している。</p>		

岡山県立和気閑谷高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
普通科,キャリア探求科	341	3
<p>1670年に岡山藩が開いた「閑谷学校」の伝統と精神を受け継ぎながら、これからの地域やグローバル社会を支える人材を育成している。</p> <p>1 「論語の教え」から自己の在り方を学ぶ。 源流・閑谷学校の精神を引き継ぎ、論語を人生の教科書とした学びを展開。本校独自の「論語百章」や「論語手帳」を用い、生きる意味や学ぶ意味を自らに問いかける。</p> <p>2 地域のリーダーを育成する探究学習「閑谷學」。 町の歴史・文化・商業などをふまえて、地域の問題解決などに挑む探究学習「閑谷學」。学校を飛び出し、地域の人々と協働しながら、様々な問題に挑む。 ※閑谷學を中心とする本校の取組が2018年1月に第7回キャリア教育推進連携表彰（文部科学省・経済産業省共同実施）において、最優秀賞を受賞。</p> <p>3 国際的な連携を実践する「ユネスコスクール」に認定。 ユネスコ憲章に基づいて平和活動・国際活動を行う学校として、本校独自の探究学習「閑谷學」とも連動しながら、「閑谷学校ボランティアガイド」など、ボランティア活動や社会貢献を実践。2016年には第7回ESD大賞において、文部科学大臣賞を受賞。</p> <p>4 積極的な国際交流で、リアルな世界に触れる。 中国・韓国・台湾の5つの高校との協定を結び、相互交流を行っている。また、上海での国際友好サマーキャンプ、本校と和気町が共催するEnglish Campなど、海外文化や外国の方々とコミュニケーションがとれる機会をふんだんに設けている。</p>		

広島県立加計高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
普通科	100	5
<p>都市にはない自然環境・生活環境・社会状況の中で、大規模校ではできない、地域課題を“生きた教材”にしたオーダーメイドな個別対応型探究学習や多種多様な国際交流、レア部活動に“熱中”でき、人生のかけがえのない経験と思い出、生涯の仲間を作るとともに、チャレンジ精神、多様性対応力、グローバルコミュニケーション力、価値創発力など、予測困難な社会を生き抜くために必要な資質・能力を伸ばすことができる学校。</p>		

広島県立加計高等学校 芸北分校	2019年度 全校生徒	県外留学
全日制 普通科（文理類型，農業類型，体育類型）	101	3
<p>国語，数学，英語…日本で学ぶ学習内容は全国共通ですよね。芸北分校では、教科書の学びから「芸北でしかできない」確かな学びを提供。</p> <p>1. イエナプラン教育…異学年の生徒が同じ教室で学び、教師だけでなく先輩からも学ぶことができる。</p> <p>2. 3つの類型…文理類型（国公立大学等の進学者向け），農業類型（地域を学びとした実学教育），体育類型（競技スキー選手の育成）</p> <p>3. 国際留学・交流…文部科学省が展開する「トビタテ！留学JAPAN」によるカナダ留学。その他にも、スリランカ、アメリカ等に長期留学。</p>		

広島県立大崎海星高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	102
		14
<p>瀬戸内海の中央に位置する広島県の離島。海に囲まれた豊かな自然の中で、清新で希望に満ちた若人が、星のように輝き、自律的に学習し、成長していくことを願い「海星」の名が付けられた大崎海星高校。恵み豊かな瀬戸内の島という立地条件を生かした学習環境で、これからの高等学校の教育を豊かに育む。</p> <p>また、2017年度にはキャリア教育優良校文部科学大臣賞を受賞。これは、地域との連携における魅力的な教育内容が評価されたため。「大崎上島学」は、島のすべてを教材とした課題発見・解決型のキャリア教育。例えば「旅する権伝馬」という行事に参加して、木造船で90kmの大航海をして、宮島の大鳥居をくぐるという体験も海星高校でしかできない。</p>		

山口県立周防大島高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
普通科・特別進学コース,普通科・普通コース,普通科・環境コース,地域創生科・福祉コース,地域創生科・ビジネスコース	206	14
<p>「コミュニティ・スクール」として「地域を愛し地域から愛される、存在感のある学校づくり」を推進し、「島じゅうキャンパス」や「島がすき、学校がすき、そこで生きてる人がすき」などの合言葉のもと、周防大島全体を学びの場と考え、地域の皆様の御支援と御協力を得ながら教育活動を充実させつつ、地域の社会や文化を支える人材の育成に努めるとともに、広く国内外で活躍できる人材の育成にも努めている。</p>		

徳島県立城西高等学校神山校	2019年度 全校生徒	県外留学
地域創生類・環境デザインコース,食農プロデュースコース	81	0
<p>多様な人々が暮らし国内外から多くの人を訪れる山あいのまちで、企業や行政との協働による実践的な少人数教育を行っている。</p> <p>2年次からコースに分かれてより専門的に学ぶ。「環境デザインコース」では、造園の知識や技術を習得し、農林業を基盤とした山村や河川流域環境の保全・再生に取り組む。「食農プロデュースコース」では、安心・安全な農作物の生産から加工調理、食品開発・販売までの実践を通じた環境保全型農業の概念を学ぶ。</p> <p>2019年度より文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受けている。</p>		

徳島県立海部高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
普通科,情報ビジネス科,数理科学科	302	13
<p>少人数ならではのきめ細やかな学習・進路指導で夢の実現を全力でサポート（令和元年度：国公立大学合格率92％、就職内定率100％）。</p> <p>●普通科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な選択科目から自分の進路に応じた学習が可能 ・進学・就職のどちらにも対応 <p>●情報ビジネス科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの専門的な知識・技術を習得 ・インターンシップ、次世代経営者育成プログラムなど豊富な体験学習 <p>●数理科学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学（文系・理系）進学対応の充実した教育内容 ・高大連携授業で、大学の学びを体験 		

愛媛県立弓削高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科 82 8
<p>穏やかな瀬戸内海に浮かぶ離島、弓削島。弓削高校は、広島県と愛媛県の県境にある全校生徒82名の小さな学校。どこからでも海が見える校舎内には、和やかであたたかな雰囲気が流れている。一人一人が主役の学校行事、ICT機器を活用した体験型授業、地域とタイアップした課題探究、愛媛県で最初の公営塾など、弓削高校だからこそできる挑戦がたくさんある。弓削ブルーの美しい空と海に囲まれて、夢を現実にする3年間を過ごす。</p>	

愛媛県立上浮穴高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	森林環境科 118.0(20年度6)
<p>本校は西日本最高峰の石鎚山を擁する久万高原町にあり、標高500mを超える冷涼な気候により、春の若葉、夏の新緑、秋の紅葉、冬の落葉という森の四季を満喫しながら学習活動を進めている。森林の管理作業の基本と林業機械の操作等を学んだり、森林内での自然生態系の学習やキャンプ等の野外活動、木材加工装置を用いた家具等の木工品製作の学習を行い、森林・林業の魅力を体験的に学習できる。実習では「木工班」「育林班」「園芸班」に分かれて、専門的な体験学習をしていく。</p>	

愛媛県立内子高等学校 小田分校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科・ビジネス,グローバル,アカデミア 61 2
<p>特徴の一つに「少人数の学習指導」が挙げられる。授業は、最大でも30人少なければ1人でも対応。50分の授業で先生と会話する時間はとても長い。少人数学習で学力+αが身に付く。また、「学校行事」や「総合的な探究の時間」に力を入れている。豊かな自然の恩恵を受けた活動、地域とつながり絆を深める行事、そして、生徒自らが企画・運営するイベントなど様々なチャレンジから主体性・協調性を育む。</p>	

愛媛県立三崎高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科 80 2
<p>豊かな自然に囲まれ、教育を受けるには最高の環境にある学校。生徒一人一人の輝く未来を咲かせるために、四国の最西端から最先端の活動をしていく。</p>	

愛媛県立宇和高等学校 三瓶分校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科 68 0
<p>愛媛県南西部の「四国西予ジオパーク」に位置し、自然に恵まれ伝統文化が息づく三瓶町。三瓶分校は令和2年度創立100周年を迎える。「小さい学校ならではの」特色を生かし、情熱的な先生方との少人数個別学習と、自然や伝統文化を生かし地域と連携した「プロジェクト学習（地域課題発見解決型学習）」を中心に、全校生徒が一丸となり「みんなで輝く、一人ひとりが輝く」素敵な学校。令和2年度からは、公営塾もスタート。</p>	

愛媛県愛媛県立野村高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	普通科, 農業科(畜産科) 199 1
<p>普通科・畜産科の2学科からなる創立74年目の伝統校。豊かな美しい自然はまさにユートピア。</p>	

高知県立室戸高等学校	2019年度 全校生徒 県外留学
	総合学科,文理総合系列,生活福祉系列,商工業・芸術系列 107 19
<p>本校のある高知県室戸市は“室戸ユネスコ世界ジオパーク”に認定。地域に密着して自然、歴史・文化遺産、地場産業について体験を交えて学習。またジオパークでの学習を生かした国内外の交流活動を推進。姉妹都市のオーストラリア・ポートリンカーン市や、マレーシア・ランカウイジオパークへの訪問などで海外の学生とも積極的に交流。</p>	

高知県立嶺北高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	80 10
生徒が主体的に、他者と協働して課題解決に取り組む「嶺北探究」（総合的な探究の時間）を位置づけ、生徒の課題解決能力等の育成に取り組んでいる。		

高知県立梶原高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科	125 5
<p>○連携型中高一貫教育校として近隣の2つの中学校と6年間の計画的・継続的な教育を行っている。</p> <p>○地域や社会に貢献する人づくりを目指し、学力向上やコミュニケーション能力の育成等の実践を行う。</p> <p>○英語と数学では、少人数の習熟度別学習を取り入れている。また、農業・家庭・商業に関する科目も設置。</p> <p>○神楽やアーチェリーなど特色ある部活動もやっている。</p> <p>○高い進路決定率を誇り、生徒の夢・希望を支える教育を実践。</p>		

高知県立四万十高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科・普通科自然環境コース	57 1
清流四万十川の中流域に位置し、普通科と普通科自然環境コースを併設した1学年2クラスの小規模校。特に自然環境コースでは、豊かな自然環境を学びの場として、森・川・海についてフィールドワークを行いながら学ぶ。環境教育を推進し、人と自然との共存を考え、一人ひとりが社会に出て責任ある行動がとれる人材づくりに努めている。		

熊本県立矢部高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科, 食農科学科, 林業科学科	135 5
平成22年度に開校し、平成31年度には10年目となる新しい高校。前身の矢部実業補習学校開校以来の124年の永きにわたる歴史と伝統を大切にしながら、地域と共にこれからの時代を切り拓いていく高校。		

大分県立久住高原農業高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	農業科	64 1
<p>①進路に応じた夢のある二つのコース「農業経営実践コースとプロジェクト探究コース」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジMy農場 → 栽培, 販売, 加工, 経営まで生徒がチャレンジ ・県下唯一のアグリコーディネータを活用し, いろいろな機関と連携 <p>②専門機関との産官学連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州大学農学部, 宮崎大学農学部, 大分大学理工学部講師による実践授業 ・農業大学校, 国立, 私立農学系大学オープンキャンパス参加や施設見学 ・県農政部や地域のプロフェッショナルによるアグリマネージメント実技指導 <p>③くじゅうアグリ創生塾の拠点となる久住高原農業高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下9校の農業高校生の集まる学び合いの中心となる久住高原農業高校 ・次代の県農業を担う人材育成の中心校 		

宮崎県立飯野高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科(総合コース, 探究コース), 生活文化科	250 0
最大の特色である地域活動は、県内外から視察が殺到する最先端の教育活動。近隣施設で長期実習を行う普通科総合コースの地域貢献活動、地域の課題に向き合い、課題解決能力を育む普通科探究コースの地域探究活動。さらに、生活文化科の地域支援活動は、保育所実習や特産品の開発など、専門力を地域に還元する取り組みとなっている。また、最先端の機器を用いた国内外との遠隔交流授業で生徒の学びを広げている。		

鹿児島県立南大隅高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	商業科	89 7
商業科が設置されており一年時には商業の基本となる教科を全員共通して学習。二年時からは地域貢献コース，簿記コース，情報処理コース，スポーツコースの中で，自分に合ったコースが選択ができる。個々の進路希望に対応できるように少人数での指導がなされており，簿記や情報処理はもちろんのこと英検や漢検にもチャレンジできる。		

鹿児島県立古仁屋高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科・進学コース,情報ビジネスコース	96 8
普通科の高等学校で，2学年次から二つのコースに分かれて学習。大学や短期大学，専門学校など，個々の進路目標の達成を目指す進学コースと，共通科目と共に情報処理等の知識や技術を身に付け，各種検定を取得しながら進学や就職を目指す情報ビジネスコース。両コースで，きめ細やかな少人数指導を行っている。また，教員一人当たりの生徒数が少ないので，生徒一人一人の個性や目標に合わせた進路指導や学習指導が可能であり，個別指導を受けている生徒も多数いる。		

鹿児島県立屋久島高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科，情報ビジネス科，環境コース	224 2
普通科と情報ビジネス科の2学科を備え，普通科には環境コースをおき，関係機関と連携しながら研究活動，公開を行っている。情報ビジネス科では，検定試験への資格取得に向けて補習をしている。また，町商工観光課と連携し，「おもてなし実習」を行っている。		

沖縄県立久米島高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	普通科,園芸科	196 40
久米島高校は那覇から飛行機で35分，紺碧の海とサンゴ礁のリーフに包まれた美しい島，久米島にある。普通・園芸の2クラスで構成。園芸科では島の基幹産業である農業を学び，普通科では発展クラスと基礎クラスに分かれ，生徒の希望進路に合わせた学習指導が行われている。 また，久米島高校では毎年3名の生徒をハワイの高校に2週間派遣。費用の9割を町が助成をするため，経済的負担をかけずに留学することが可能。		

沖縄県立辺土名高等学校	2019年度 全校生徒	県外留学
	環境科,普通科	113 3
沖縄本島最北端に位置する辺土名高校。三方を森に囲まれ目の前に海が広がる恵まれた自然環境を生かした教育を行っている。「やんばるの自然」をフィールドとして体験学習などを行い，自然や生き物に対する興味・関心や基礎的な知識・技術を高め，環境に配慮した考えや行動が出来る人材を育成することを目的とする県内で唯一の学科「環境科」と，「やんばる」の特色ある自然・歴史・文化を意識した学習をとおして豊かで活力ある社会づくりに貢献できるグローバルな人材育成を目指す「普通科」がある。Think Globally Act yambaly(やんばるの自然を学び世界へ目を向けよう)を地域や外部団体等と連携して実践。		